

玉連総会ガザ停戦決議

加盟国の8割
153カ国が賛成

【シンガポール・馬田峰 隆】国連総会は12日、イスラエルなど10カ国にとどまり、英独など23カ国が棄権しました。パレスチナ・ガザ地区に関する緊急特別会合を開き、日本は賛成しました。

8日は国連安全保障理事会では即時停戦を求める同様の決議案が常任理事国である米国の拒否権行使で否決された。この結果、即時停戦を求める決議は採択されなかった。

停戦実現に向けた重要な一步として、決議の採択を歓迎する

志位委員長が談話

日本共産党中央委員長は13日、「停戦実現に向けた重要な一步として、決議の採択を歓迎する」とした談話を発表しました。

国会は12日、ガザの破局的事態を回避するため即時の人道的停戦を要求する決議を、賛成153、全加盟国8割という圧倒的多数の賛成で採択した。反対は、米国やイスラエルなど10カ国であり、その孤立ぶりがきわだった。日本政府は賛成した。国連総会での決議の採択は、ガザ危機の人道的解決を求める世界の世論と運動の結果であつた。日本共产党は、停戦実現に向けた重要な一步として、心から歓迎する。

一、日本共产党は、ガザでのシェノサイドの中止、即時停戦を求める声明を発表し、国際的働きかけを行い、国会論戦でも日本政府の姿勢を厳しくただしてきたが、わが党の行動も国連総会での前進への貢献となつた。国連憲法条約を力

ガザ「人道的停戦」賛成32カ国増

国連総会決議

米同盟国も態度変更

賛成32カ国増の内訳

反対から賛成（2）

クロアチア、フィジー

棄権から賛成（26）

日本、アルバニア、オーストラリア、カナダ、キプロス、デンマーク、エストニア、エチオピア、フィンランド、ギリシャ、アイスランド、インド、ラトビア、モナコ、北マケドニア、フィリピン、ポーランド、韓国、モルドバ、サンマリノ、セルビア、スウェーデン、チュニジア、ツバル、バヌアツ、ザンビア

無投票から賛成（7）

カンボジア、ジャマイカ、サモア、ルワンダ、ベナン、ブルンジ、セーシェル

賛成から棄権（3）

アルゼンチン、赤道ギニア、マラウイ

12月14日開かれたガザ停戦動向に関する国連総会の緊急会合で、イバヘルとペレスが10回で衝突して以降、2回目でした。前回10月27日に採択した「人道的休戦」を求める

決議の賛成は10カ国。今回の「即時の人道的停戦」を求める決議への賛成は15カ国で32カ国増え、「アフリカの加盟国、米

はカナダやアンゴラ、ギリシャなど、米国主導の軍事同盟、北大西洋条約機構の一員たるカナダ、オーストラリア、日本も賛成。オーストラリアにないが入っています。

軍事行動に非難次々

国連総会討論 国際人道法順守を要求

「ガザ侵攻は非難され、国際人道法に対する深い懸念を表明し、「人道的緊急特別委員会」も「強大な爆撃」と指摘し、暴力が軍事侵略、テロ市民に対する野蛮な侵略行為などの国際法の実現（ホーリントン）などと、彼らの困難をかわいと嘆かれた。この国がイスラエルの軍事行動を非難し、国連は国際人道法の遵守を強調し、国連は国際人道法の遵守を強調した。また、なればならない」と語りかけました。

「ハイセンが、国際人道法に定められた、均衡の原則、も「国連は国際人道法を順守する」が重要性を強調しました。民間人に対する暴政、人道主義体制の崩壊である。ガザ地区の人道状況に、人の保護をガザへ支援を呼びました。

そのため、人道的停戦の実現を訴えました。この上、国連安全保障理事会の開催を強く主張し、人道の解放を要求。一方で、イバヘルがガザへ人道支援を行つて国連職員を攻撃し、民間人への支援を阻止していることを非難しました。

カナダは10月14日以降、スガヤスカルと大規模攻撃を行つたと見なすと、多数の国が支持された。同様の決議案が米国の中止により否決されたが、これがより容赦されたといふべきだ。

カナダは10月14日以降、スガヤスカルと大規模攻撃を行つたと見なすと、多数の国が支持された。同様の決議案が米国の中止により否決されたが、これがより容赦されたといふべきだ。

カナダは10月14日以降、スガヤスカルと大規模攻撃を行つたと見なすと、多数の国が支持された。同様の決議案が米国の中止により否決されたが、これがより容赦されたといふべきだ。